

2019年度のスタート!

新年度を迎え、元号も変わるといことも相まって、新たな気持ちでのスタートとなりました。

昨年度、生涯スポーツグループでは、「生涯スポーツ推進センター」の機能を果たすべく、地域スポーツの人材育成・スポーツの多様な場を創出する地域連絡協議会の立ち上げ・スポーツフェスタの開催などを行ってきました。総合型地域スポーツクラブの皆さまには、それぞれの持ち味を活かされた取組にご尽力賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

また、昨年度は、「白鳥健康教室(宇部市)」「総合型スポーツクラブ防府(防府市)」「至誠館クラブ(萩市)」の3つのクラブが正式に創設され、市町の行政担当者の支援の下、会員の拡大、活動の定着と発展など、大きな目標をもってスタートされました。しかしながら、一方では、一つのクラブが解散し、二つの準備中のクラブが発展不可能となりましたので、4月現在、本県の総合型地域スポーツクラブの育成状況は右の表のとおりになっています。

さて、2019年度は、昨年度までの事業を継続することになりました。主な内容をお示しします。

山口県の総合型地域スポーツクラブ育成状況	
創設クラブ	50
準備中クラブ	5

項 目	主 な 内 容 や 方 針
クラブの創設・育成	育成支援については、これまでどおり、ヒヤリングを行い、悩み解決の支援をします。準備中クラブがクラブとして創設・設立できるよう市町担当者と協力していきます。
重点地域への支援	関係者との協議を進め、地域の実態に応じた設立準備委員会を立ち上げます。
スポーツ指導者等派遣事業	申請額の範囲内での流用を可能にすることで、補助金の有効活用を可能にしました。
地域スポーツフェスタ及び研修会事業	会員と地域住民がふれあう場を設け、クラブ間の連携を促進します。
地域スポーツ人材育成	各種研修会を行い、地域スポーツに携わる人をさらに増やします。
国の動向	登録・認証制度が進められる中、国の動向に注目しつつ、県連絡協議会との連携で対応していきます。
広報活動	わくわく通信を年間6回発行し、ホットな情報を提供します。

わくわく(輪く和く)通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより



Vol.27

2019年

4月

人をつなぐ 思いをつなぐ

今年度もスポーツコンシェルジュ(リーダー・クラブアドバイザー)が配置されました。クラブづくりを通して、地域スポーツの活性化に努めてまいります。

リーダー 和田 康夫

今年度で、4年目。たくさんの人と出会えたことに感謝し、皆さまの思いや願いの実現に少しでも力になれたと思います。気持ちを新鮮にもって・・・

クラブアドバイザー 岡村 睦美

今年度も担当をさせていただきます。昨年度と同様の事業が展開されますので、地域連絡協議会や地域フェスタで関わらせていただくことが多いと思います。よろしくお願いいたします。

山口県スポーツ指導者バンクを 活用してみませんか？



指導者がいれば・・・

地域の皆さんやクラブの会員から、「もっとこんな種目がやりたい」という声はあがりませんか？そのような時に、指導者で困ることはありませんか？

種目によっては、指導者を必要としない場合がありますが、マンネリしてきたと感じたときに、外部からの指導者を招くことで、新たな視点が見つかるかもしれません。

スポーツ指導者バンクとは

山口県生涯スポーツ推進センターでは、「県民の多様化、高度化したスポーツ活動のニーズに応じた専門的な資格を有した指導者についての適切な情報提供ができるようにするために、山口県スポーツ指導者バンクを設立しました。

申請の方法

インターネットから、山口県スポーツ推進課のホームページで、

「生涯スポーツの推進」⇒、「山口県スポーツ指導者バンクの設置について」

から、アクセスできます。手続きは、簡単です。きっと、クラブの目的に応じた指導者が見つかると思います。なお、指導者としての登録も随時受け付けています。

登録の状況

4月1日現在、種目別のバンク登録は次の種目です。

- | | | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 空手道 | <input type="checkbox"/> 弓道 | <input type="checkbox"/> 剣道 | <input type="checkbox"/> スポーツチャンバラ | <input type="checkbox"/> ソフトテニス | <input type="checkbox"/> 卓球 |
| <input type="checkbox"/> ソフトボール・軟式野球 | <input type="checkbox"/> 体操・トランポリン | <input type="checkbox"/> ダンス等 | <input type="checkbox"/> 馬術 | | |
| <input type="checkbox"/> バドミントン | <input type="checkbox"/> パワーリフティング | <input type="checkbox"/> ボウリング | <input type="checkbox"/> ボート | | |
| <input type="checkbox"/> 陸上競技 | <input type="checkbox"/> その他各種 | | | | |

お気軽にお問い合わせを

お問い合わせは、

生涯スポーツ推進センターがある山口県スポーツ推進課

山口県体育協会生涯スポーツグループ

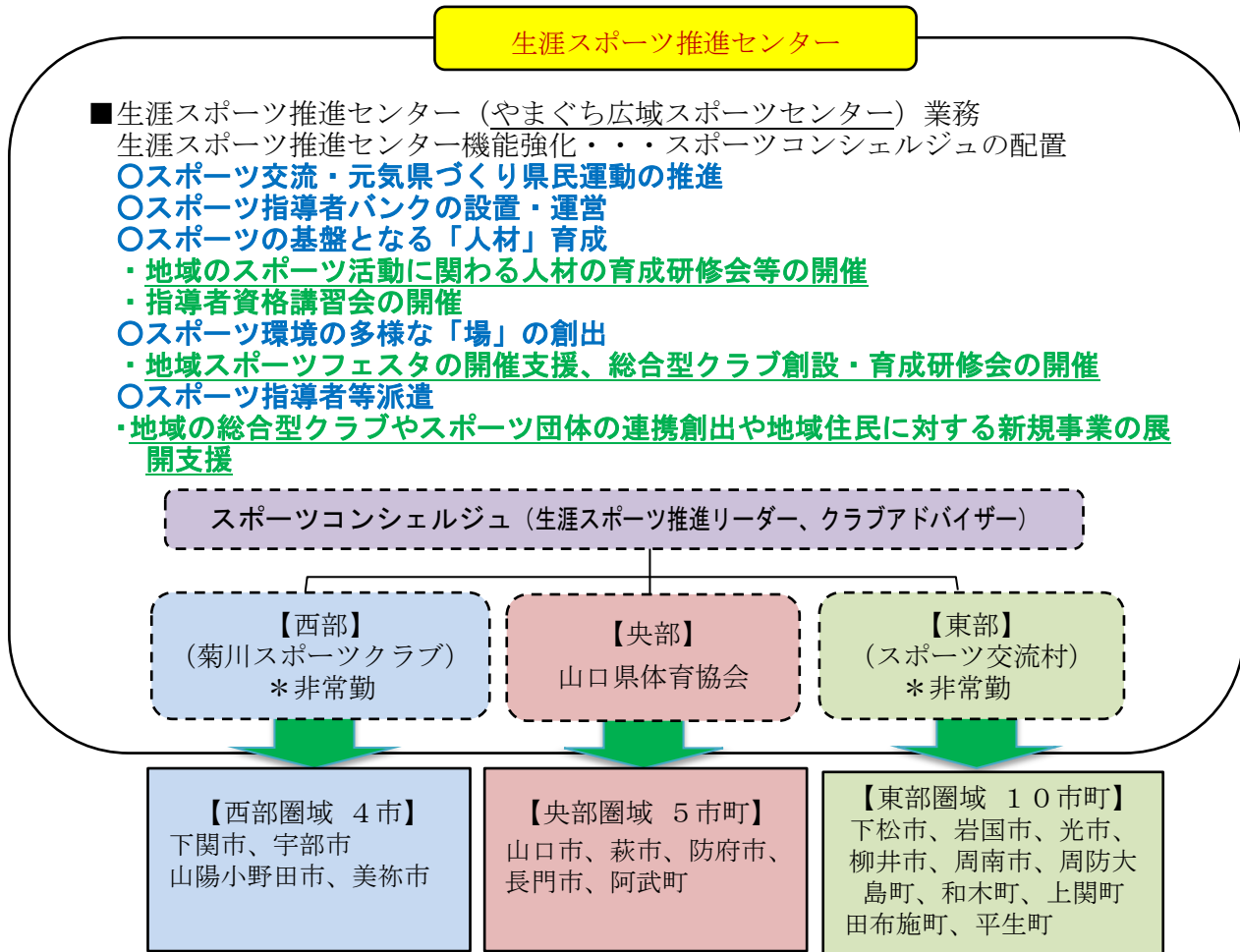
お気軽にご相談ください。

TEL:083-933-2435

TEL:083-933-4697

2019年度 生涯スポーツ推進センターの体制

生涯スポーツ推進センターは、スポーツ推進課との強いパイプで、県内の生涯スポーツにかかわる5つの業務を担当します。県内を3つに分け、新たなクラブの立ち上げにチャレンジしています。



総合型地域スポーツクラブ 訪問日記

クラブ名	訪問日	訪問者
総合型スポーツクラブ防府	平成31年3月24日（日）	岡村 睦美

今回は、スポーツ指導者等派遣事業を活用して実施された総合型スポーツクラブ防府主催の『ファミリースポーツフェスタ2019』に伺いました。講師に山口県出身の元Jリーガーである安永聡太郎氏（宇部市）と林晃平氏（防府市）を迎え、サッカー教室が行われ、クラブ会員やスポーツ少年団など約100名が参加していました。プロの技を目の前で見た子どもたちは「すごっ！」と真剣に見入っていました。安永氏は、技術的な指導の中で、自ら考えて実践することを何度も話されていました。また、ミニゲームの前には救急救命についての話があり、サッカーボールを使って心臓マッサージの方法を学ぶ時間もありました。



参加者から「日本代表になるにはどのようにしたら良いですか？」との質問に対し、「サッカーを好きでいること」と答えられました。山口県出身のJリーガーからの指導ということで、子どもたちの目は輝いており、真剣に話を聞く姿、楽しくボールを蹴る姿が印象的でした。最後は、お二人から色紙にサインを書いてもらい、満足そうな笑顔で帰っていました。直接プロ選手から指導してもらうという機会はありませんが、貴重な経験だと思えます。子どもたちにとって、とても貴重な一日となったことでしょう。



人がつながる 人でつながる 人がつくる

総合型地域スポーツクラブが量より質の転換を求められています。地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人… このコーナーでは、各コーディネーターがインタビューをして、人を紹介していきます。

くめくめ倶楽部 会長 末長裕昌 氏



平成22年から、2年間の準備期間を経て、周南市久米地区で活動を続けておられる「くめくめ倶楽部」の会長であり、指導者でもある末長裕昌さんに、お話を伺いました。

くめくめ倶楽部の特徴は？

「自分がやりたいことを」というのが、私の考え方であり、倶楽部の特色です。この倶楽部には、約100人の子ども会員がいますが、多くはスポーツ少年団活動をしています。週1回の倶楽部の活動としては、「バドミントン」「グラウンド・ゴルフ」「ペタンク」などに加え、「ウォーキング」「ACP」など、いろいろな運動をしています。会員は、倶楽部の行事に参加したり、スポーツ少年団の活動をしたり、自由に選択できます。

末長さんとスポーツの関わりは？

子どもの頃は、近所の広場で野球をやっていました。中学校でも野球をしていましたが、市内での陸上大会には出ていました。走るのが好きだったんですね。高校では、ハンドボールに夢中になり、インターハイにも出場しました。社会人になってからも、実業団のハンドボール選手として、いわゆる競技スポーツにどっぷりとつかっていました。今から30年ほど前、我が子が野球スポーツ少年団に入ったことで、手伝うようになりました。2年後のある日、保護者の負担が大きいことを知って、もっと気軽に楽しめ、子どもたちの体力向上に役に立つ、陸上スポーツ少年団を立ち上げました。靴さえあればできるという発想だったのです。それから、陸上のことを学び、資格をとりました。走るのが得意だった少年時代があったから、今の自分がいると思えます。

これからの夢は？

数年前から、久米小学校の6年生の陸上指導もしています。昨年は、徳山大学の先生にも助けていただくなど、人とのつながりが広がってきていますので、これを大切にしたいと考えています。また、倶楽部には大人会員が少ないので、親子でスポーツに関われるような働きかけをしていくつもりです。とにかく、安心で安全、そして、何よりもスポーツの楽しさを伝えていくことが、私のビジョンです。

校庭の桜が満開で穏やかな日に、久米小学校コミュニティルームで、お話を伺うことができました。アスリートとしての経験を元に、地域スポーツのマネジメントに携わり、ご自身の生涯スポーツとしておられるのだと感じました。これからも、地域の皆さんと一緒に、コミュニティスクールの一員としてもたくさんのアイデアを出して行かれるはずですよ。

総合型地域スポーツクラブ BLUE ROSE 代表 石川達海 氏

平成11年4月に設立し、22年目を迎える BLUE ROSE 代表である石川達海さんにお話を伺いました。

設立のきっかけは？

スポーツの指導者が集まり、地域スポーツの現状や問題点などを話し合う機会があり、今後少子化によって活動が困難になるスポーツやマイナースポーツの活性化、週5日制に伴う児童・生徒に対する受け皿等を真剣に考えていこうという意見が出ました。その後、毎月意見交換会を行い、平成10年3月に総合型クラブの設立検討会が立ち上がりました。幾度も話し合いを重ね、平成11年4月に正式にクラブを設立しました。種目は、多い時には、サッカー・レスリング・ゴルフ・合気道・なぎなた・相撲の6クラブで活動を行っていましたが、指導者の高齢化や子どもの減少により、現在は、サッカー・レスリング・ゴルフを実施しています。

クラブ名の由来は？

当時青いバラは、交配による品種改良では誰も青いバラを実現することができませんでした。「いつか青いバラを咲かすことができるようにクラブも夢を追い求めよう」という思いを込めて、『BLUE ROSE』と命名しました。

今後は？

結果だけにこだわらず、子ども一人ひとりが成長できるように、強いハートを持ちハングリー精神も向上できるように、広い視野を持たせて子どもを育てていきたいと思っています。

29年度にはクラブ20周年記念事業で女子サッカー日本代表の川澄奈穂美選手によるサッカークリニックとトークショーを実施しました。レスリングや他の種目でも、プロの選手によるイベントを実施し、子どもたちに夢をあたえられるような事業をしていきたいと考えています。

石川さんは本当に子どものことを考えておられ、子どもが大好きであることがすごく伝わってきました。



【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

中央地域スポーツ推進センター(山口県体育協会) TEL 083-933-4697
FAX 083-933-4699